

第 50 回例会 (H26.3.12) 感想 出席者 111 名 再参加 50 名・初参加 61 名

アンケート回答 70 枚 (回答率 60%) ありがとうございました。

当院では寝たきりの患者が多く熱発をくり返している。その原因が口腔内の状態が悪いのではないかと感じながらも、どこをどのように口腔ケアをしていけばよいのか、わからなかったり、食事をとっている患者が熱発し、食事が止まり、解熱し、再度食事が始まって再び熱発することがある。しっかり口腔ケアできていたか自信ない。今回の講演をきき口腔ケアの重要性を知ることができた。(看護師)

舌が大きくなったり、歯ぐきが腫れていることに驚いた。口腔ケアの大切さが理解できた。ブラシの前にまず観察がとても大切だとわかった。わかりやすくとても楽しかったです。(介護福祉士)

初めて参加させてもらいました。病院に勤務して食事の後の口腔ケアを声かけだけで自力で出来るとばかり、しっかりみてあげられてなかったと思い改めて口腔ケアの大切さを教えてもらえて良かったです。どこでもあるスプーンの活用、今後使わせてもらいます。(介護福祉士)

ターミナルケアとの関わり方のひとつとして口腔ケアに興味がありました。今日の講演は本当にわかりやすく自身考え方を見直す事が出来て良かったです。現場の方でも取り入れて美しい健康な患者さんを増やしたいです。(介護福祉士)

いろんな人の口の中を見させていただきました。おそらくこんなにたくさんの方の口の中を見させていただいたのは初めてです。“舌は口の中の手”というのなるほどと思いました。おろそかになりがちなので、もっと意識して口の中を観察したいと思います。(介護支援専門員)

今日初めて参加させていただきました。実際に口の中を診る、触るまではしていませんでした。今後実践していこうと思います。(介護員)

食べられるような口づくりが寝たきりや活動的に動ける分かれ道なんだと学びました。利用

者の方の普段の口腔ケアがどんなものなのか、自分がどこまでできているのかを把握して、支援をしていけたらと思いました。介護予防の運動と結びつくと他からも聞いているので運動と口腔でアプローチしていきたいです。(介護員)

口腔ケアの重要性がよくわかりました。誤嚥を繰り返されている方が在宅におられますが、口腔面からアセスメントしてみたいと思います。ありがとうございました。(介護支援専門員)

介護予防の観点からサルコペニアと口腔機能の関係、重要性を知れてよかった。(PT)

なかなか本人、家族とも口腔ケアについての認識が薄いです。特に在宅では重度の寝たきりの高齢者は誤嚥性肺炎をすぐに発症し、入退院を繰り返している状態です。在宅主治医と歯科医師の連携がスムーズにできれば良いと思います。(介護支援専門員・歯科衛生士)

口腔ケアが大事なことはわかっていましたが、今日の講義をきかせてもらい、知識を深めることができました。主治医の先生との連携も難しいですが、歯科医の先生とも連携が必要だと思いました。(介護支援専門員・介護福祉士)

楽しく勉強になりました。入れ歯はすぐに入れられると思っていました。(介護支援専門員)

盛りだくさんの内容をポイントを押さえたお話でとてもわかりやすかったです。食べられる口づくりに携わることができるSTとして、自分ができることを真摯に行い多職種・同職種と連携していきたい。(ST)

口腔ケアがいかに色々な機能に関わっているのか想像以上に重要な役割を担っていたことを知り目からウロコでした。(薬剤師)

足立融先生の口腔ケア、口腔機能の説明により改めて口腔ケアの重要性を確認しました。他職種の人々に口腔ケアの重要性を認識してもら

うのも我々歯科医師の役割だと思います。周知していただく為に努力しなければならないと思いました。口腔を不潔にしていると熱を出される事がある事を皆さんに知ってほしいと思います。ターミナルの方や熱が出ている人の口の中を見てほしいと思います。オーラルリハビリテーション脱発作やストレッチの概念がもっと広まっていくことを願います。(歯科医師)

口腔ケアについて今までそれほど重要視してこなかったということに気付きました。これからは担当の方の口にも気を付けていこうと思います。(介護支援専門員・介護福祉士)

口腔ケアとは歯を磨き、きれいにする事だけではないと、今日の話聞いて改めて感じた。ただ、話が難しく分からないところもあったので…。次は口腔ケアの正しいやり方について話を聞いてみたい。(介護福祉士)

初めて参加させて頂きました。口腔ケアがどれほど大切なのか知ることができました。自身を見直すきっかけになりました。明日から業務に活かします。(管理栄養士)

必要がないかぎり(恥ずかしながら)アセスメントの上で口腔内の状況を細かく確認することがほとんどなかった。今日の研修会で口腔内の状態をよくすることが生命維持はもちろんADL全てにおいての改善につながっていることがわかった。気づきができました。歯科医師センターの連絡先がわかってありがたかったです。是非相談していきたいと思います。(介護支援専門員)

口腔機能をチェックする歯科衛生士などの職場における実施指導の必要性を強く感じました。(医師)

口腔内の健康を保つという事がとても重要だと感じました。疾患が原因で歯の状態、歯肉の状態が悪い方(食事が難しいのではないか)でも医師や歯科医が関わり、よく見て色々な事を挑戦していくことで良い状態(食べられる口腔内)にしていく事が出来るのだとわかりました。そして何より当事者の気持ち・意欲が大切だと思いました。口腔ケアを行う事で、身体の内側の健康だけでなく、外観で感じられる健康が見られるんだと思いました。(訪問介護員)

ショートステイの仕事をしています。在宅生活が中心となっています。今回の口腔ケア勉強会を聞いて口腔ケアの必要がよくわかりました。まだ漠然としていて何から手をつければ良いのか迷っています。口腔ケアの取り組みをしていきたい。S Tの方がいますので協力して口からしっかり食べてもらうようにケアをしていきたい。相談に行くかもしれないので、その時はよろしく願います。(介護福祉士)

口腔ケアの大切さ、義歯の大切さ等々、知らない事ばかりでした。今後は訪問診察をもっと利用して食べられる口になっていけるように皆で協力して取り組んでいきたいと思います。本日はありがとうございました。(介護支援専門員)

とても分かりやすい講演会で本当の意味での口腔ケアの大切さ、必要性がよくわかりました。(介護員)

初めて参加させて頂き、義歯の必要性がわかりました。単純に食事は出来ると思っていましたが…食べられる環境を作ってからの方が良い事、急いではいけないのだと思いました。参考にしていきたいです。ありがとうございました。(看護師)

口腔ケアを行っていますが、食後食残がないようにしている感じのケアだったので、もっと歯科衛生士と一緒に口腔内全体を診て、いろいろな反射を診て、食べられるようになるケアにつなげていきたいと思います。本日はありがとうございました。(看護師)

口腔ケアの重要性がよく理解できました。(?)

入れ歯の重要性についてよく理解できた。(行政職)

ありがとうございました。(介護支援専門員)

途中からの参加でした。口腔ケア、多職種連携の重要性を知りました。(PT)

食べられる口をつくることのむずかしさを再認識しました。また義歯のないことでいろいろな問題が増えるので、あきらめず入れ歯を作る、

調整することが大切と感じました。実際の現場で取り組むためには、やはり多職種の協力が必要ですが、本当の意味での「口腔ケア」が出来てないように思いました。ありがとうございました。（管理栄養士）

口腔や咽頭の解剖を改めて勉強できました。義歯がちゃんとあるとこうも表情が変わるのかと驚きました。（医師）

活気の無い方が、口の中を診て義歯あるいは整えただけで、あんなに明るく元気になられたのには驚きました。当施設にも義歯のない方がおられ、やわらか食を召し上がっておられますが少し考えさせられました。（介護福祉士）

今回の勉強会に参加し今まで自分が行ってきた口腔ケアのレベルの低さに気づかされました。口腔ケアの大切さを改めて知ることができて良かったです。本当にありがとうございました。（看護師）

自らの経歴から始まり、出来ること、出来ないことを踏まえて説明してくださり分かりやすかった。口についての知識がなかったので、口の情報についてのスライドもあり分かりやすかったと思う。ケアの実例や実際の口の中の写真を多く見ることができて良かった。ケアの内容等も紹介してもらえると良かった（介護員）

通所で仕事をしています（小規模多機能）義歯をされている方やしてない方がいます。認知症が強い方はその管理も難しいのが現実（家族が）です。家族のあり方や…とても感じます。いつまでも…おいしく食べて頂きたい思いとそうできない現実とが施設にはあります。（介護福祉士）

日頃、利用者の介護はもちろん、口腔ケアをすることはありませんが、事業所に今日習得できたこと、知れたことを持ち帰り伝えていければと思います。口腔に関しては私たちが今からできる自分の介護予防でもあるのだと改めて感じました。熱が出たり、体調が悪かったりすると医者にわりとすぐにかかりますが歯医者はなかなか行こうと思う人が少ないのではないかと思います。訪問診療が更に広がると介護の幅も広がっていくのではないかと思います。（事務員）

普段のリハビリの中で頬や口含の動きは見ても、お口を見せていただく事がなかったなと思いました。特に在宅では専門職の目が行き届かないことが多いのが現状だと思います。まだ知識は乏しいですが現状を把握するためにも、まずは患者さんのお口の状態を見られるように働きかけていきたいと思います。（PT）

普段特に気にせず行っている行為、食べること、その行為には様々な工程を経ていることを学ばせていただきました。在宅において口腔機能と口腔ケアの重要性を知りました。食事ができていなかった人でも義歯を変えたり、口腔ケアを行う事で十分な食事もでき、かつ誤嚥性肺炎の予防になる。自分は薬剤師の為、薬の事を重要視しますが、口も非常に大切だと感じました。（薬剤師）

口から食べられない人ほど、口腔ケアが必要と言われます。その意味がしっかりと理解できたように思います。これからも頑張りたいと思います。まずは自分から…。（看護師）

口腔ケアについて深く考えたことがなかったので、口腔ケアをすることでQOLがこんなに変わってくることが驚きでした。口の中をきれいにするだけで、食べることが難しいのは分かっていたつもりでしたが、いろいろ見るべき所が多く勉強になりました。（栄養士）

歯科というジャンルにもまだまだわからないことだらけで、今後の発展が大変興味深し、益々成長して欲しいと思いました。（介護福祉士）

口腔内の状態についていろいろな事例を挙げて説明されていたと思います。これまで接していたご利用者と似た事例もあれば、初めて見るような事例もあり、参考になりました。口腔ケアの重要性を再認識できるような研修であったと思います。少し早口であったように感じました。（介護員）

口腔ケアの大切さがよく分かりました。（保健師）

50回記念ということで、すばらしいです。連携の必要性のところよくわかりました。ありがとうございました。（歯科衛生士）

一言で口腔ケアと言っても様々な症状があることを初めて知った。薬剤師として、どのように関わったらいいのかを考えると口腔ケアに関して難しい。知識をつけて訪問歯科診療を提案ができるようにしていきたい。(薬剤師)

今まで、あまり歯科訪問診療、訪問歯科衛生指導について詳しい理解がなかったのですが、今回事例を見せて頂いて表情の無い高齢者の方が顔つきも変わり、表情が良くなった姿を見て重要性を感じました。施設で相談員として働いていますが、口腔ケアのことを十分な理解の無いまま、口腔ケアという言葉を出していたんだと思いました。今回初めて参加させて頂きましたが、とても勉強になりました。(介護支援専門員・社会福祉士)

口腔ケアの目的とは「食」を支え安らかにターミナルを迎えてもらうこと、感動しました。ありがとうございました。(医師)

口腔ケアの意義、改めて口について考えてみたいと思います。認知症の方の支援を毎日していますが、関係ができるとあらゆる事が可能になります。口も同じ“あーん”と口を開けていただけの関係づくりが最も大切だと思います。(看護師・介護支援専門員)

いつも足立先生には教えてもらう事ばかりです。日々口腔ケアの考え方も進歩していると思います。少しでも関わっている高齢者の方の口から食べるQOLの向上という事を頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。(歯科衛生)

口の大切さという視点で学べ、要支援にケアマネジメントをしています。今後の支援の幅、知識が広がった。多職種連携の重要性も映像で見ることにより更に大切なことがわかる。(社会福祉士)

今回初めて参加させて頂きました。デーサービスを利用されている方も口臭、いわゆる歯周病の方が多くおられます。家族へその旨を説明するのですが、なかなか理解して下さる人が少なく困っています。今日の講義で知り得た事を皆様にお伝えできればと思います。ありがとうございました。(看護師)

口腔ケアの重要性がすんなりと納得できました。誤嚥性肺炎を繰り返す90歳老人の今後の事、取り組んでみようと思えることができるようになるヒントをいただきました。有難うございました。(医師)

口腔ケアを行う前に、口の中がどういう状態か観察していくことが重要であると感じました。義歯をつけないと舌が肥大してくるという事にとっても驚きました。自分の働いている職場にもST、歯科衛生士の方がおられるのでその方々と協力しながら口腔ケアをしっかり行っていきたくと思います。(介護福祉士)

何気なく今まで行っていた口腔ケアがその方の今後の命に関わる事につながると改めて学びました。看取りの方の口腔ケアを念入りに行うようNSから特に支持を受けます。何も食べていない人の口腔内も汚いと改めて知識として勉強になりました。正しい口腔ケア、観察ポイントをしる事も大切だが正しい物品の使い方を知る事も大切だと思いました。(介護福祉士)

口腔ケアに対する意識がすごく分かりました。日々関わる者として勉強したい事がたくさんありました。本当にありがとうございました。(介護員)

口や口の周りをみることの大切さ、みるポイントを分かりやすく教えていただくととても参考になりました。是非意識して確認していこうと思います。(保健師)

施設の介護現場では様々なご利用者がおられます。全く歯がない方、義歯の方、口腔ケアに拒否のある方、いつも歯科衛生士やSTの方と連携し指導のもとに口腔ケアに取り組んでいます。先日はターミナルの方が口腔内から出血が常時みられ口腔内にコアグラや痰と血が混ざったものがたまり、現場で何度もスポンジブラシで取り除いても、いたちごっこの状態でした。DHの方と吸引しながら対応したりして、大分きれいになりました。本人もその後状態がよくなったりされました。今回の講演で口腔ケアの目的の中に「安らかなターミナルを迎えてもらうこと」とありましたが、まさにその通りだと思います。もっと深く口腔ケアについて学び、技術も磨いていきたいです。(介護福祉士)

唾液の流涎のある方に嚥下訓練時、義歯を入れてするのと、入れずにするのとの差を再確認できました。最近風邪で入院され、入院中義歯を外され合わなくなり外したままで入所となり肺炎になり、又入院となっています。病院で昼間でも義歯を入れていただくように出来ないものかと思っています。(歯科衛生士)

非常に勉強になりました。舌の重要性が分かりました。(PT)

先生から誤嚥は仕方ないと言っていたきありがたく思いました。現場では誤嚥＝怖いというイメージが強すぎ、VF等で少量の誤嚥を認めるとすぐに食形態ダウン、強いトロミなどをすすめられ、食欲、生きる意欲の低下をきたしてしまう方が多い印象を持っています。1ℓ～2ℓ/日の唾液があり、60歳以上の100%が夜間の唾液誤嚥がある事を考えると、誤嚥した時に咳か痰が出る、入っても発熱・肺炎にならない体力を維持するという視点が現場に広がればと思います。(ST)

多職種の方々の要望に応えられるようにそして良い連携がとれるようにスキルを上げたいと思います。(歯科医師)

口腔ケアの奥深さに改めて自分の勉強になりました。(歯科衛生士)

口腔ケアの必要性を感じ大事にしていきます。(介護福祉士)

様々な口腔内のスライドを見せて頂き、とても参考になった。一人一人の口腔ケアの実施についても、もう少し具体的に説明してほしかった。(介護福祉士)

今回初めて参加させて頂きましたが、改めて口腔ケアの重要性を再認識し、ただ業務のひとつとしてのケアでなく利用者様の健康状態に関わる事として改めて接しなくてはならないと思いました。(介護福祉士)

今まで口腔ケアは、口の中をきれいにする事を目標にしていたが、口の中をきれいにするケアではなく、食べる為、生きる為の口腔ケアを心掛けたいと思います。義歯の重要性、必要性も大切な事だと思いました。(看護助手)

人の生きがいである食事が気持ちよく、楽しくできるようになることで、笑顔が増えるだけでなく、普段の表情そのものが凛々しくしっかりとしているように見えた。病院で仕事をしている介護師ですが、まずは患者様の口を見ることから始めて、また自らの考えを見直して、少しでも患者様の笑顔が増えるようなケアをしていきたいです。(介護福祉士)